

## 平成28年度 県土整備部環境配慮事例報告書

## 位置図・平面図等

事業主管課	都市計画課
実施機関	東部県土整備局(徳島)

### 【事業の概要】

事業の種類	道路の整備	一般国道、県道、街路
事業箇所名	徳島市末広2丁目～住吉6丁目	
事業の規模・状況	1.8 km	小規模事業a 施工段階

### 【事業の目的及び概要】

当路線は、徳島外環状道路の東部に位置する地域高規格道路であり、四国横断道と一体となり、地域の連携強化を図るとともに、徳島市内の慢性的な渋滞を解消し、円滑な交通を創出、地域振興、防災対策に寄与する重要な社会基盤である。

本事業は、阿波しらさぎ大橋から末広大橋までの間について、高架構造により整備を行うものである。

### 【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○							○			

### 【特に配慮した環境要素と実施事項】

当事業区間は、市街地における住宅密集地帯であり、施工箇所は住宅に近接していることから、周辺環境への影響を低減させることが求められている。配慮した環境要素と実施事項は、以下のとおりである。

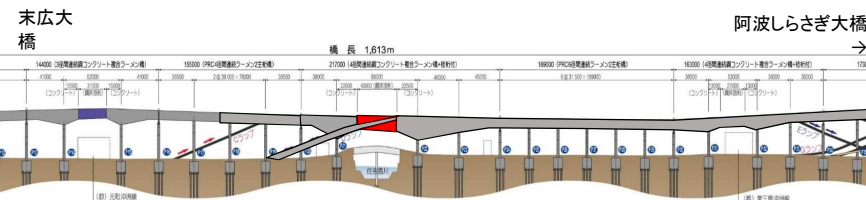
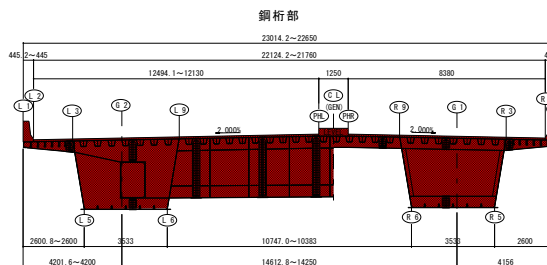
- ①大気(ほこり): 粉じんを抑制するため、削孔時に吸引器を使用。
- ②環境(騒音): 高力ボルト締付け作業時において、騒音低減効果のある「電動式ボルト予備締め機」および「油圧式ピン圧入機」を使用。
- ③環境(騒音): 発動発電機の周りに防音シートを設置。
- ④環境(騒音): 計測データを常時表示できる自動騒音振動計測装置を設置。

### 【目標に対する達成状況】

実施事項により、周辺環境への影響を低減することができた。

### 【実施事項に対する評価】

実施者	①吸引器を使用し、粉じんを抑制することができ、周辺住民からの苦情等もなかった。 ②騒音低減効果のあるボルト締付け機を使用し、騒音の低減を図れた。 ③発動発電機の周りに防音シートを設置し、騒音の低減を図れた。 ④自動騒音振動計測装置を設置し、常に騒音・振動を確認しながら、作業を進めることが出来た。
主管課	住宅密集地における工事のため、できる限り周辺への影響を低減することが望まれ、実施事項により低減が図られている。
専門家	



## 写真、図面等



①吸引器使用の写真



③防音シートの写真



②騒音低減効果のあるボルト締付け機の写真



④自動騒音振動計測装置の写真